

ミニバスと一般のルールの相違点について

平成22年12月25日

北信越ミニバスケットボール連盟

北信越ブロックミニバスケットボール審判委員長 大井明氏より

文責 審判委員長 佐藤 弘 毅

ミニの規則書には、一般と違い詳細に規定されていない部分が沢山あります。それは「ミニバスの理念」に基づくものであり、定められていない部分はオンザコートのレフリーが「この子供たちにとって、よりよいルールの適用とは何なのか」を考えながら、一般の規則書等を参考にしながら、その場で判断をします。

競技時間 1Q 2Q 3Q 4Q
6分 - 1分 - 6分 - 5分 - 6分 - 1分 - 6分 原則・引き分け
(延長を行う場合は、1回3分の延長時間を必要な回数行い、後半と同じバスケットへ攻撃する。各延長時限の間は2分間とする。)
(第4Qの残り2分間は、フィールドゴールの後は時間は止まらない。)

出場メンバーの登録

- 1 第1Qは試合開始3分前、その他は前Q終了後直ちに両チームの選手が の前に立って登録を行なう。
(確認は副審がテーブルオフィシャルと行う。)
- 2 第3Qまでに10人以上のプレイヤーが1Q以上、2Qをを越えない時間だけは出場しなければならない。

試合前の主審のホイッスルは3分前と1分前の2回

バックコートでのヴァイオレイションによるスロー・インは審判がボールを手渡さない。
(ジャンプボール・シチュエーション、ファウルの時は手渡す。)

スロー・インの時にヴァイオレイションをしてしまった場合、ケースによってはやり直しをさせることもできる。

スロー・インの時、ボールをディフェンスの背中にあてて再開する行為はあまり良くないので、指導のうえ、スロー・インのやり直しをさせてください。(現在、ルールとしては規定されていない。)

ボールを相手のプレイヤーにあててアウト・オブ・バウンズにする行為は、ボールをあてたプレイヤーのヴァイオレイションとする。

チーム・ファウルは各クォーター5個目からフリー・スローを行う。(オフェンシブ・ファウルもフリー・スローをする。)

プレイヤーのディスクォリファイング・ファウル(退場)の規定はない。(コーチはありえる。)

選手(子供)に対してのテクニカル・ファウルは、即座に宣せず、まずコーチなどに注意を与える。

タイム・アウトは各ハーフに1回ずつ。(1分間) 延長時限は各延長時限に1回ずつ

(タイム・アウトの終わりを告げるブザー・審判の笛は1分経過時のみ1回だけ)

クォーター中の選手交代は、第4クォーターと延長時限のみ。それもどちらかのチームがタイム・アウトを請求したときにしかできない。

(ケガによる交代はどのクォーターでも可能。ただし退くプレイヤーはそのクォーター出場したことになる。)
(フリー・スローの前にタイム・アウトがあったとき、特例として最後のフリー・スローが成功した場合のみ、シューターの交代ができる。)

選手が出血してしまった場合は即座に交代とせず、選手が「まだやりたい」という意思があるならば状況を見て、止血が出来るようであればゲームを中断して待ってあげる。

バックパス、8秒ルールはない。3ポイント・ルールもない。

ショット・クロックは30秒。ショット後のヴァイオレイションの成立は一般のルールと同じ。ただし、カットボールによるヴァイオレイション、ジャンプボール・シチュエーション、審判が何だの理由でゲームを中断したとき等はすべてリセットする。

第1クォーターを始めるジャンプ・ボールでジャンパーにタップされる前にパーソナル・ファウルがあった場合は、スコアシートに記録し、その後センター・サークルでのジャンプ・ボールで始められる。

(2005改正・一般規則ではこの時間帯における“パーソナル・ファウル”という概念はない。)

フリー・スローの与え方を間違えてしまった場合 (処置の訂正) は、次の競技時限が始まる前 (インターバル中も含む) までならば訂正することができる。

同じ競技時限中に発見した場合は、どちらも不利にならないことを確認して時間を止め訂正をする。ゲームの再開はボールを保持していたチームのスロー・インで再開する。

ゲーム中に負傷した選手(子供)を保護する必要があると判断したときには、ただちにゲームを止めてよい。ゲームの勝敗ではなく、選手(子供)の保護を何よりも優先させる。

2009～一般競技規則とミニバス競技規則との関係について

ドリブルの始まりに(バックボードにボールを触れさせること)が加わったが、ミニバスではケースとして多くみられないことから、条文のままとする。(加えない。)

トラベリングについて、転んだ後の処置についても条文のままとする。

アンスポーツマンライク・ファウル(速攻のケース)についても、オートマチックに宣することはミニバスではふさわしくないので、ケース・バイ・ケースで判断する。

オフィシャルズ・マニュアルの導入については、ミニバスのゲーム運営に支障をきたさないものについては、そのまま導入してください。

＊＊ 太字の下線(波線部)が相違点です。